

# 2024年度中間期決算説明資料

---



(2024年11月現在)

■ 1. 2024/9期（中間期）の業績	.....2
■ 2. 貸出金の推移	.....3
■ 3. 総預金+預り資産残高の推移	.....4
■ 4. 自己資本の状況	.....5
■ 5. 企業価値向上に向けた取組み	.....6

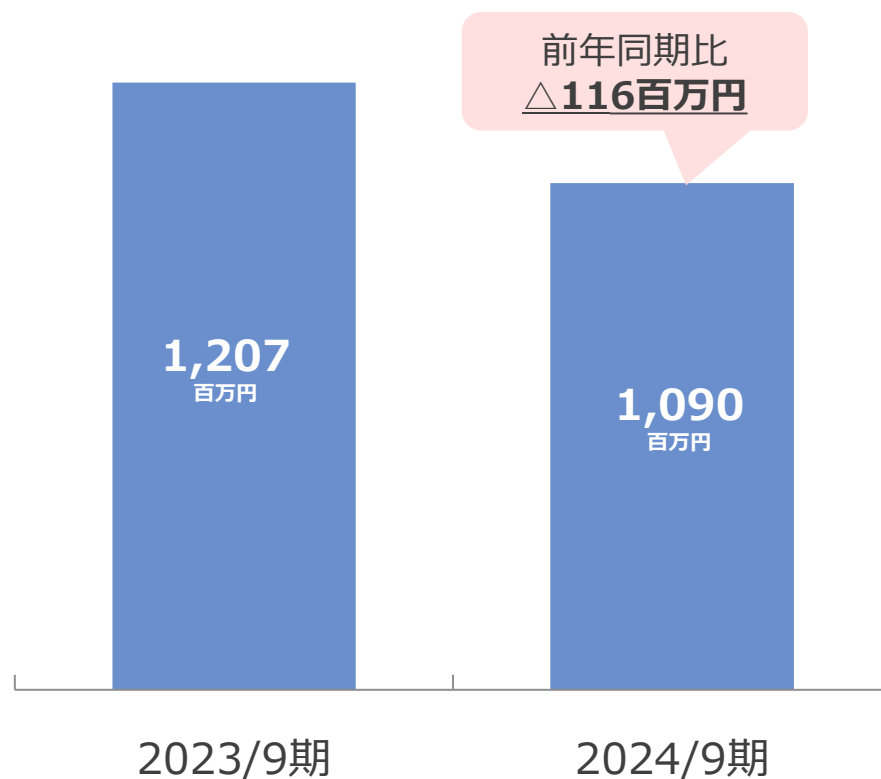
# 1. 2024/9期（中間期）の業績

貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加など資金利益の増加や有価証券関係損益の増加などにより、中間純利益は前年同期比39百万円増加して8億80百万円となりました。

## 単体

(百万円)	2023/9期	2024/9期	増減
経常収益	5,935	5,821	△113
資金利益 (除く投資信託解約損益)	4,220	4,292	72
役務取引等利益	522	327	△194
有価証券関係損益 (含む外国為替売買損益)	△349	88	438
経費 (除く臨時処理分)	3,399	3,529	129
経常利益	1,208	1,289	81
中間純利益	841	880	39
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	1,207	1,090	△116
与信関連費用	△32	45	78
総資金利鞘	0.20%	0.18%	-0.02%
お客さま向けサービス業務利益率	0.20%	0.12%	-0.08%

## コア業務純益（除く投資信託解約損益）※

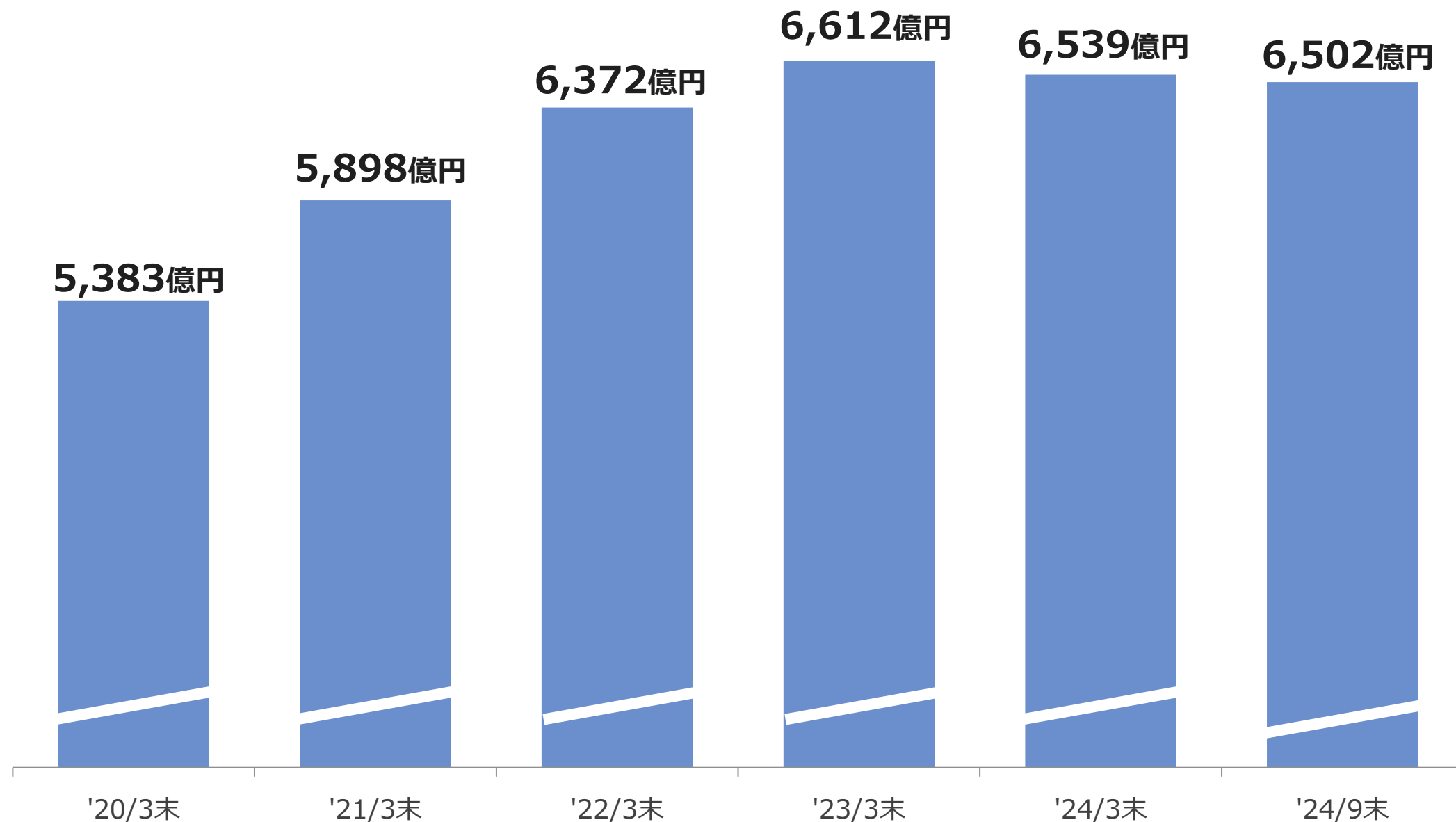


### ※ コア業務純益(除く投資信託解約損益)

貸出業務や役務サービスなど金融機関の本来の収益力をあらわす。本業のもうけを示す営業利益にあたる業務純益から、国債の売買損益、投資信託解約損益など、一時的な変動要因を除いたもの。

## 2. 貸出金の推移（単体）

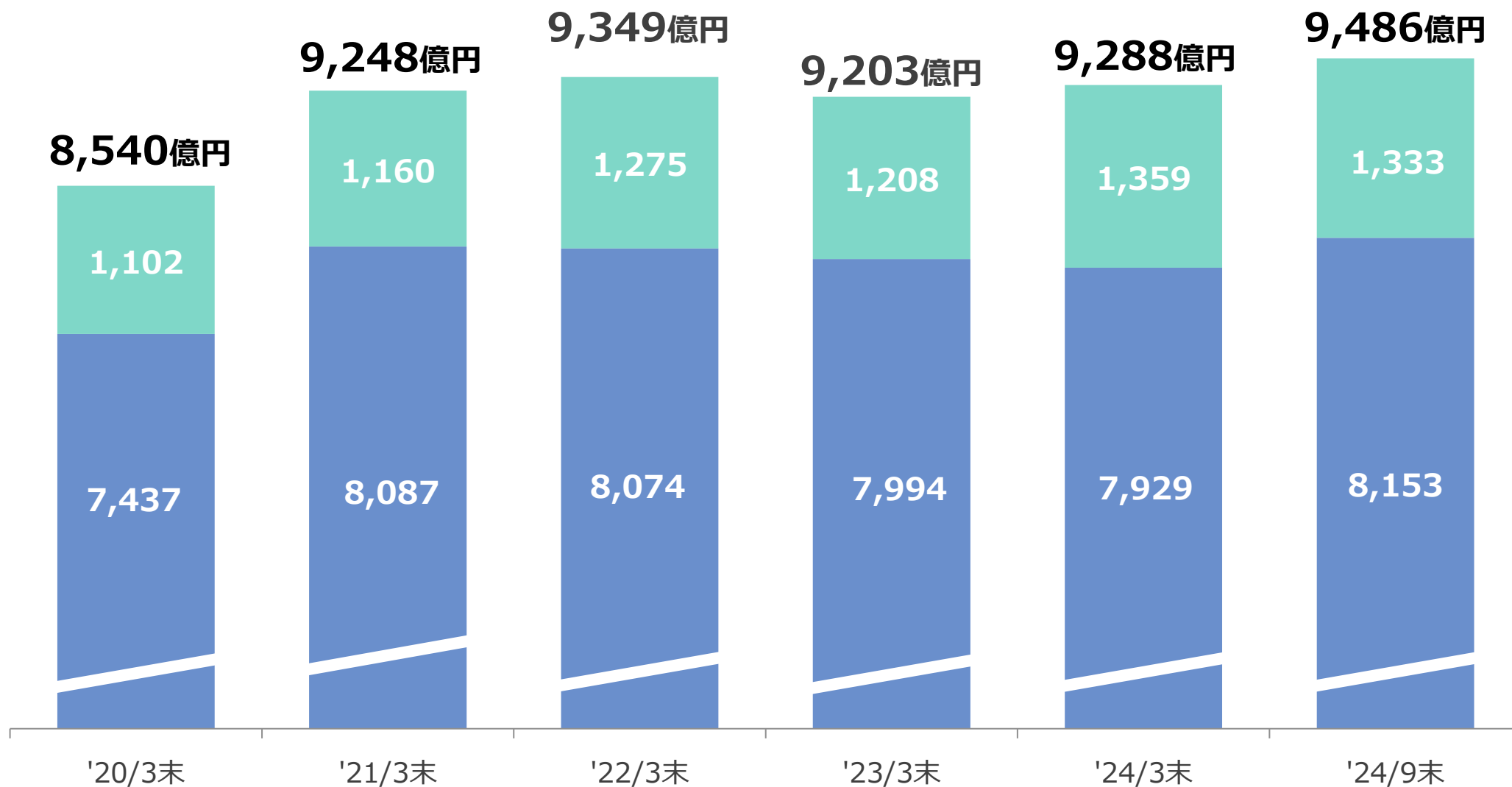
2024/9末の貸出金残高は、個人ローンは増加したものの事業性貸出が減少したことから、2024/3末比36億円減少して6,502億円となりました。



### 3. 総預金＋預り資産残高の推移（単体）

2024/9末の総預金と預り資産残高は、総預金の増加を主因に、2024/3末比197億円増加して9,486億円となりました。

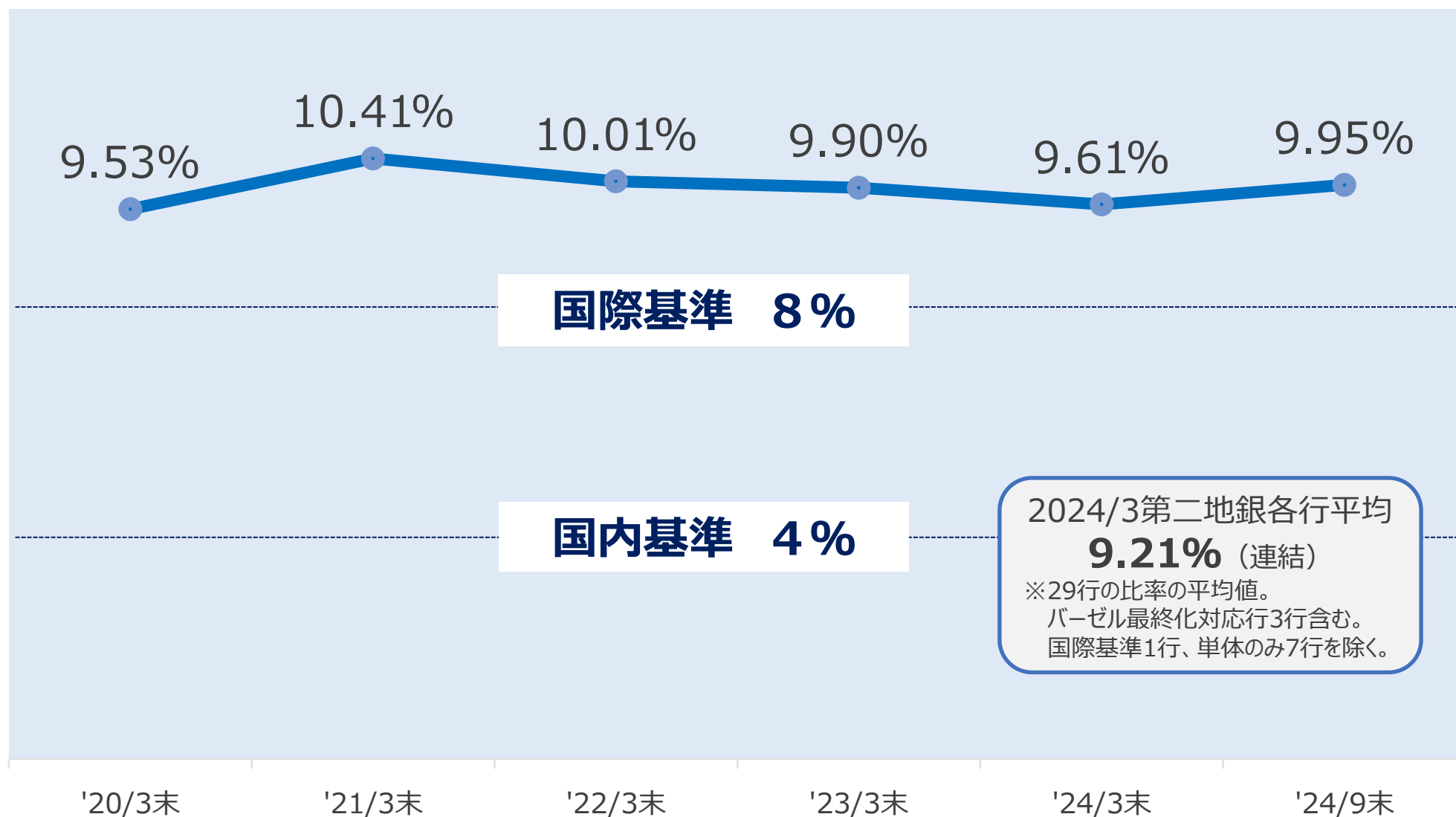
■ 総預金（末残）      ■ 預り資産（投資信託＋公共債＋個人保険）



## 4. 自己資本の状況（連結）

2024/9末の連結自己資本比率は9.95%となり、2024/3末比0.34ポイント上昇しました。

● 連結自己資本比率

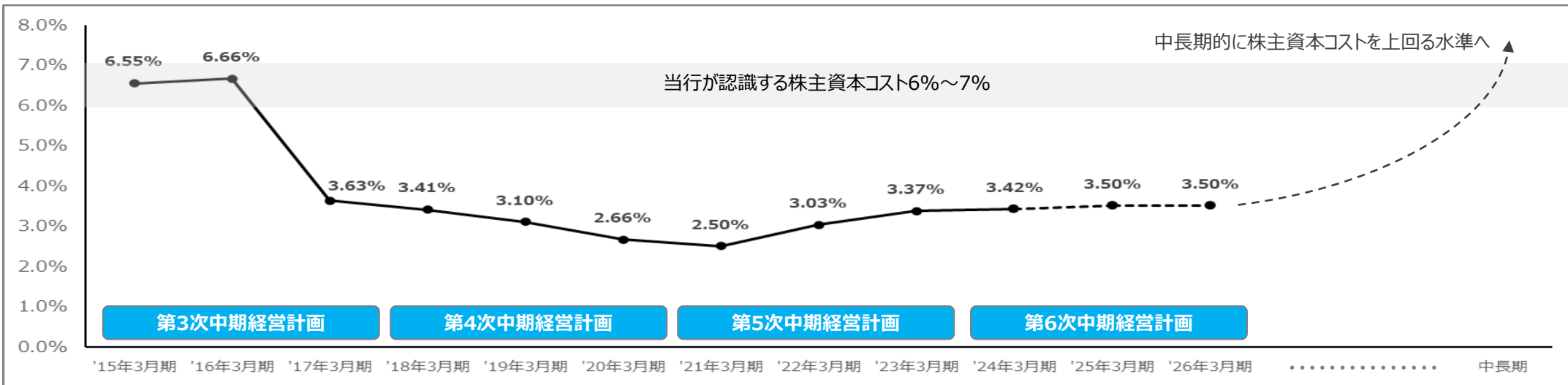


# 5. 企業価値向上に向けた取組み

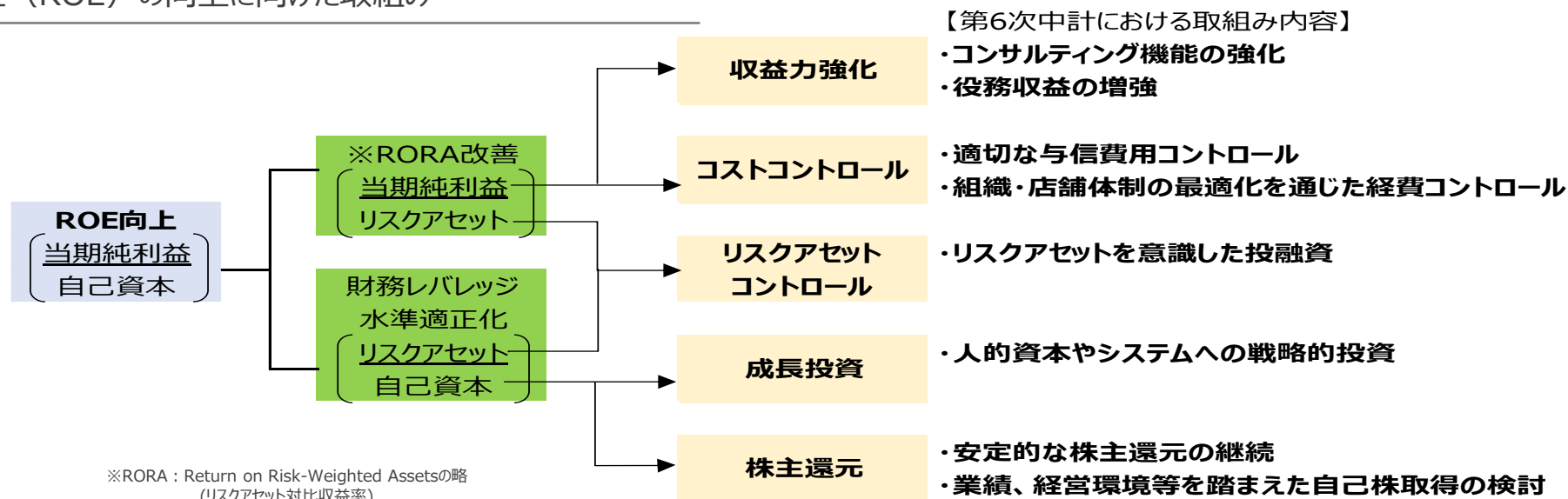
## 【株主資本コストおよび資本収益性】

- 当行のROE（資本収益性）は、株主資本コストを下回る状況が続いております。従いまして、**第6次中期経営計画を着実に実行し企業価値を高めるとともに、中長期的には、株主資本コストを上回る水準を目指します。**

### 当行の株主資本コストおよび資本収益性（ROE）



### 資本収益性（ROE）の向上に向けた取組み



※RORA：Return on Risk-Weighted Assetsの略  
(リスクアセット対比収益率)

本資料は、当行に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありませんので、予めご了承くださいませようお願いします。

本資料に関するお問い合わせ先  
大東銀行 経営部  
TEL : 024-925-3872 (ダイヤルイン)